

## 記者発表資料

### 関東地方整備局発注の砂防工事で初めて 「時間的制約を受ける公共土木工事の積算」 「地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更」 「監理技術者育成交代モデル工事」を試行します。

砂防関係工事は中山間地での施工が多く、施工条件が厳しい現場が多いことから、これまでも現場状況に応じて適切な設計・積算の実施に努めているところです。

うちこうち

今回公告する「R2内河内第五砂防堰堤工事」では、より砂防工事の現場実態や施工条件等を反映した積算が行えるよう見積活用方式の採用、時間的制約を受ける場合の労務費補正、労働者確保に要する間接費の設計変更等を実施するとともに「監理技術者育成交代モデル工事」に取り組みます。

#### ①「時間的制約を受ける公共土木工事の積算」

本工事は山間地での施工となるため、現場事務所等から施工現場までの移動等で作業時間に制約を受ける事が懸念されます。このため作業時間に制約を受ける対象工種について、その妥当性を検証のうえ、労務費に補正割増を乗じて実績変更する「時間的制約を受ける公共土木工事の積算」を適用します。

#### ②「地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更」

本工事は山間地での施工となるため、地域内の労働者が不足することが懸念されます。このため地域外からの労働者確保に必要な宿泊費や労働者の赴任手当などの対象項目について、その妥当性を検証のうえ、実績変更する「地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更」を試行します。

#### ③「監理技術者育成交代モデル工事」

本工事は山間地での施工となるため、経験技術者の不足が懸念されます。このため豊富な工事経験のある技術者が、同種工事の経験のない技術者を指導・監督することで育成し、育成した技術者と主任(監理)技術者が交代することができる「監理技術者育成交代モデル工事」を試行します。

#### ④「見積活用方式」

本工事は入札参加者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。見積もりを求める工種は、標準的な積算と乖離が生じることが予想される工種より選定しています。

### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ 茨城県政記者クラブ  
栃木県政記者クラブ 刀水クラブ・テレビ記者会 千葉県政記者会 都庁記者クラブ  
神奈川県政記者クラブ 山梨県政記者クラブ

### 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 河川部 河川工事課  
電話：048-601-3151(代表) 048-600-1337(直通)  
課長 宮崎 和幸 (みやざき かずゆき)  
課長補佐 中崎 薫 (なかざき かおる)

《工事概要》

- (1) 工事名 : R2内河内第五砂防堰堤工事  
 (2) 工事場所 : 山梨県南巨摩郡早川町新倉地先(はやかわちょう あらくらちさき)  
 (3) 工期 : 契約締結の翌日から令和6年9月9日まで  
 (4) 入札方式 : 一般競争入札【施工能力評価型 I 型】施工体制確認型  
 (5) 工事種別 : 一般土木工事 B  
 (6) 工事内容

砂防堰堤工	1式
砂防土工	1式
コンクリート堰堤工	1式
作業土工	1式
コンクリート堰堤本体工	約7,300m <sup>3</sup>
コンクリート副堰堤工	約3,500m <sup>3</sup>
間詰工	1式
水叩工	約1,800m <sup>3</sup>
コンクリート擁壁工	約 300m <sup>3</sup>
砂防付属物設置工	1式
構造物撤去工	1式
仮設工	1式

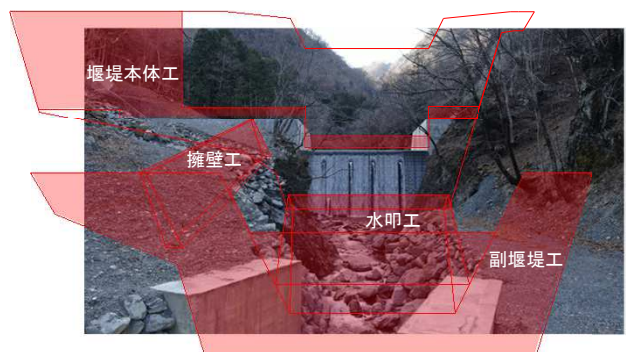
《時間的制約を受ける公共土木工事の積算について》

本工事現場は最寄りの国道から約26kmの距離があり、労務者の集合・離散場所によっては、現場までの移動に長時間を要することが懸念されます。そのため1日8時間の作業時間を確保出来ない場合が考えられるため、「時間的制約を受ける公共土木工事の積算」を適用します。

精査変更時に実際にかかった移動時間について妥当性を確認し設計変更の対象とするものです。

時間的制約状況の程度	作業時間/日	労務費の 補正割増し係数
時間的制約を受ける場合	7時間/日を超え 7.5時間/日以下	1.06
時間的制約を著しく受ける場合	4時間/日以上～ 7時間/日以下	1.14

工事場所  
の状況



《地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更について》

本工事は山間部の工事であるため、地域外から労働者を確保する必要があると考えられるため「地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更」を採用します。

「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用について、精査変更時に証明書類の妥当性を確認し実績変更を実施するものです。

営繕費:借上費、宿泊費、労働者送迎費

現場管理費:労務管理費

構成費目		率分に含まれる主な項目
営繕費	借上費	建物を建築する代わりに貸しビル、マンション、民家等を長期借上げした場合に要した費用等
	宿泊費	労働者が、旅館、ホテル等に宿泊した場合に要した費用
	労働者送迎費	労働者をマイクロバス等で日々当該現場に送迎輸送を要するために要した費用
現場管理費	労務管理費	募集・解散費、賃金以外の食事・通勤等に要する費用

《監理技術者育成交代モデルについて》

本工事は堤体高20m以上の砂防堰堤の築造工事で、堤体高20mを超える砂防堰堤自体が少なく、今後、豊富な工事経験がある技術者の高齢化による離職が懸念されます。そのため同種工事経験の無い技術者を育成することを目的として、「監理技術者育成交代モデル」を採用します。

以下は特記仕様書からの抜粋です。

- 1 本工事は、技術者育成交代モデル工事(試行)である。  
(入札競争参加資格で求めた同種工事実績を持つ技術者を以下「監理技術者」という。交代予定の監理技術者以外の技術者を以下「育成技術者」という。)
- 2 受注者は以下により監理技術者を交代することができる。
  - ①交代の時期は、本工事におけるコンクリート堰堤工等で9,000m<sup>3</sup>以上施工した段階において施工上一定の区切りとみなせる時期とし、詳細な時期は監督職員と協議するものとする。
  - ②育成技術者は、公共事業分野で「河川」の施工実績を有するものとする。施工実績は、コリンズ登録されている工事で過去15年とする。
  - ③育成技術者は、監理技術者の専任期間において育成技術者として従事しており、交代までに1級土木施工管理技士及び監理技術者資格者証並びに監理技術者講習修了証の取得が確認できるものとする。なお、育成技術者は、本工事のみに従事することとする。
  - ④受注者は、配置予定の育成技術者が、交代時点で配置予定の主任(監理)技術者と同等の技術力を取得するための措置として、育成期間におけるトレーニングプログラムを施工計画書に記載する。受注者は育成プログラムの実施状況について監督職員から提示を求められた場合は、実施状況について説明し、資料を提示するものとする。
  - ⑤交代前に中間技術検査を実施する。なお、実施する際には監理技術者と育成技術者が同席することとする。

《見積活用方式について》

本工事は新倉地先における砂防堰堤の築造工事で、急峻な溪流内であり狭隘な作業ヤード内での施工となるため、作業効率が低下することが懸念されます。また、生コンクリート単価については、現場条件により各種割り増しを適用しているところですが、現場実態に乖離が発生しています。そのため標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられる「歩掛」及び「材料単価」について、入札参加者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を採用します。

《スケジュール》

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| ○入札公告、入札説明書、見積依頼書交付      | : 令和2年7月22日(水) |
| ○競争参加資格確認申請書・資料、見積書 提出期限 | : 令和2年8月 7日(金) |
| ○入札書・工事費内訳書 提出期限         | : 令和2年9月14日(月) |
| ○開札日                     | : 令和2年9月17日(木) |